

提出先：JIMGA規制改革WG事務局
羽坂 智 (shasaka@jimga.or.jp)

規制改革要望提案書 (JIMGA国際部会規制改革WG)

提案日： 2020.04.06
提案者： 日本エア・リキード合同会社
課題名： 減圧弁による製造行為は製造に該当しないようにする
概要： 現状減圧弁による製造は処理量は0ですが、製造行為になるため第2種製造届が必要です。
多段で減圧する場合、最終圧力が高压ガスでなければ、消費とみなし、製造届を不要とする。

目的： 減圧弁で高压から低压に減圧する場合、本来であれば、細かく減圧(例えば14.7→8.0→5.0→3.0→0.8MPaとか)してJ-T効果を抑えたほうが良いのですが、製造行為を避けるために無理やり消費になるように減圧(例えば14.7MPa→0.8MPaとか)しています。細かく減圧できれば1次側の加温をする必要がなくなると可能性があり、可燃性の系であれば安全方向になるし、場合によっては全体のコスト低減の可能性はある。

達成のイメージ

法改正、例示基準、通達、KHK基準改定、JIMGA基準改定、その他の関連基準の改訂
コメント： 施行令の変更

関連省庁：

経済産業省、厚生労働省、農林水産省、総務省(消防)、KHK、全溶連、LPガス協会、その他
コメント：

課題の重要性評価

以下の項目を10段階で評価し、優先順位決定の指標とする。

1. 緊急性(達成の目標スケジュール)



コメント：

2. コストの影響



コメント：

3. 産業界への影響(コストの影響以外)



コメント：

○総合得点：17

コメント：

活動の組織体制

JIMGA技術WG (WG)、JIMGAタスクホースチーム、他協会との合同タスクホース (協会)、
その他

その他

コメント：

[JIMGA使用欄]

受付日：

担当：

コメント：